



# 2024年4月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年9月13日

上場会社名 アゼアス株式会社  
コード番号 3161 URL <http://www.azearth.co.jp/>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 斉藤 文明  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員総務部部长 (氏名) 五十嵐 克己  
四半期報告書提出予定日 2023年9月13日  
配当支払開始予定日  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
TEL 03-3865-1311

(百万円未満切捨て)

## 1. 2024年4月期第1四半期の連結業績(2023年5月1日～2023年7月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年4月期第1四半期	2,119	12.2	78		85	682.9	55	
2023年4月期第1四半期	1,888	14.9	3	95.4	10	87.3	0	99.1

(注) 包括利益 2024年4月期第1四半期 69百万円 (102.3%) 2023年4月期第1四半期 34百万円 ( 53.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年4月期第1四半期	9.87	
2023年4月期第1四半期	0.09	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年4月期第1四半期	8,597	6,545	76.1
2023年4月期	9,048	6,604	73.0

(参考) 自己資本 2024年4月期第1四半期 6,545百万円 2023年4月期 6,604百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年4月期		0.00		22.00	22.00
2024年4月期					
2024年4月期(予想)		0.00		23.00	23.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2024年4月期の連結業績予想(2023年5月1日～2024年4月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	4,222	3.5	119	12.8	129	11.6	88	9.1	15.55
通期	9,507	4.7	536	1.0	565	0.4	385	5.3	67.92

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年4月期1Q	6,085,401 株	2023年4月期	6,085,401 株
期末自己株式数	2024年4月期1Q	425,847 株	2023年4月期	425,847 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年4月期1Q	5,659,554 株	2023年4月期1Q	5,641,354 株

(注) 期末自己株式数には、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が所有する当社株式(2024年4月期1Q 162,700株、2023年4月期 162,700株)が含まれております。また、株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が所有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めておりません。(2024年4月期1Q 162,700株、2023年4月期1Q 180,900株)

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 3
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 7
(継続企業の前提に関する注記)	P. 7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 7
(追加情報)	P. 7
(セグメント情報等)	P. 8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症のまん延が収束に向かいつつあるなか経済活動は回復し、企業収益も全体として高水準で推移しており、業況感は緩やかに改善しています。今後のわが国経済を展望しても、海外経済の回復ペース鈍化による下押し圧力を受けるものの、ペントアップ需要の顕在化に加え、緩やかな金融政策や政府の経済対策の効果などにも支えられて、緩やかな回復が続くことが期待されています。一方で、海外の経済・物価情勢と国際金融資本市場の動向、ロシア・ウクライナ情勢の展開や資源・穀物価格の動向は大きなリスク要因となっており、世界的なインフレや、経済への下押し圧力への大きな影響も懸念されています。

このような環境下、主力事業であります防護服・環境資機材事業は、新型コロナウイルス感染症対応後の反動減が一時的に見られたものの、現在では回復基調に転じており、比較的堅調に推移して業績を牽引した結果、売上高は2,119百万円（前年同四半期比12.2%増）、営業利益は78百万円（前年同四半期は3百万円）、経常利益は85百万円（前年同四半期比682.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は55百万円（前年同四半期は0.5百万円）となり、増収増益となりました。

セグメント別の業績を示すと、次のとおりであります。

防護服・環境資機材事業におきましては、新型コロナウイルス感染症対応後の反動減が見られた一般産業分野での需要が回復に転じたほか、防護具（ハード）と安全・防護のノウハウ（ソフト）を組み合わせたソリューションビジネスの注力分野である建設工事関連や安全環境設備分野での売上が増加するとともに、防護服の新たな事業領域として取り組んでいる高視認防護服や難燃防護服の取り扱いも増加した結果、売上高は1,075百万円（前年同四半期比11.2%増）、セグメント利益（営業利益）は112百万円（前年同四半期比9.6%増）となり、増収増益となりました。

ヘルスケア製品事業におきましては、主力製品であるアゼアスデザインセンター秋田で生産する日本製マスクについて、大口受注を獲得した結果、売上が大幅に伸長しましたが、円安の進行等に伴う資材価格の高騰が主な要因となっており、当第1四半期時点で黒字化するまでには至らず、売上高は82百万円（前年同四半期は0.5百万円）、セグメント損失（営業損失）は4百万円（前年同四半期はセグメント損失37百万円）となり、増収ですが、セグメント損失の計上となりました。

ライフマテリアル事業のうち、機能性建材事業におきましては、利益率の高い新製品「ReFace」を中心とした営業活動へとビジネスモデルの転換が進んでおりますが、豊表など従来からの商品の販売が市況の悪化により低迷しました。一方で、アパレル資材事業は、作業服・ワーキング分野、学生服・スクールウェア分野の販売が概ね堅調に推移致しました。その結果、売上高は842百万円（前年同四半期比2.9%増）、セグメント利益（営業利益）は50百万円（前年同四半期比25.9%増）となり、増収増益となりました。

なお、報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用は78百万円であります。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

流動資産は前連結会計年度末に比べて6.7%減少し6,524百万円となりました。これは、主として現金及び預金が547百万円減少、売上債権が114百万円減少し、棚卸資産が217百万円増加したためであります。

固定資産は前連結会計年度末に比べて0.7%増加し2,072百万円となりました。これは、主として投資有価証券が株価の上昇で16百万円増加したためであります。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて451百万円減少し8,597百万円となりました。

#### (負債)

流動負債は前連結会計年度末に比べて18.0%減少し1,718百万円となりました。これは、主として仕入債務が179百万円減少、未払法人税等が納税等で108百万円減少したためであります。

固定負債は前連結会計年度末に比べて4.8%減少し332百万円となりました。これは、主として長期借入金が返済により27百万円減少したためであります。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて392百万円減少し2,051百万円となりました。

#### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて0.9%減少し6,545百万円となりました。これは、主として利益剰余金が配当等で72百万円減少したためであります。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,153,209	2,605,850
受取手形及び売掛金	1,806,201	1,695,510
電子記録債権	570,316	566,753
商品及び製品	1,190,655	1,380,220
原材料	176,643	211,871
仕掛品	9,951	2,305
その他	104,408	81,607
貸倒引当金	△21,160	△19,510
流動資産合計	6,990,225	6,524,608
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	801,871	805,765
機械装置及び運搬具（純額）	103,745	96,817
土地	680,919	680,914
その他（純額）	37,194	35,980
有形固定資産合計	1,623,730	1,619,477
無形固定資産	90,317	89,836
投資その他の資産		
投資有価証券	140,844	157,744
その他	213,415	215,412
貸倒引当金	△9,861	△9,868
投資その他の資産合計	344,398	363,288
固定資産合計	2,058,446	2,072,602
資産合計	9,048,672	8,597,210
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	823,863	799,537
電子記録債務	718,947	563,840
賞与引当金	58,500	37,390
未払法人税等	122,165	13,949
1年内返済予定の長期借入金	111,984	111,984
その他	259,474	191,995
流動負債合計	2,094,935	1,718,698
固定負債		
長期借入金	207,368	179,372
役員退職慰労引当金	16,240	9,930
役員株式給付引当金	39,107	41,036
退職給付に係る負債	86,584	87,851
その他	-	14,392
固定負債合計	349,300	332,582
負債合計	2,444,235	2,051,280

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年7月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	887,645	887,645
資本剰余金	1,100,341	1,100,341
利益剰余金	4,736,576	4,664,394
自己株式	△245,689	△245,689
株主資本合計	6,478,873	6,406,690
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	12,997	24,723
繰延ヘッジ損益	-	1,214
為替換算調整勘定	112,565	113,300
その他の包括利益累計額合計	125,563	139,238
純資産合計	6,604,436	6,545,929
負債純資産合計	9,048,672	8,597,210

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年5月1日 至 2022年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年7月31日)
売上高	1,888,297	2,119,116
売上原価	1,525,432	1,699,439
売上総利益	362,864	419,676
販売費及び一般管理費	359,043	340,711
営業利益	3,821	78,965
営業外収益		
受取利息	102	71
受取配当金	853	922
為替差益	3,285	1,148
業務受託料	2,400	2,400
保険解約返戻金	-	2,245
その他	881	368
営業外収益合計	7,522	7,156
営業外費用		
支払利息	294	189
持分法による投資損失	166	847
その他	17	19
営業外費用合計	477	1,056
経常利益	10,865	85,066
特別損失		
減損損失	21	5
固定資産除却損	-	81
特別損失合計	21	87
税金等調整前四半期純利益	10,844	84,978
法人税、住民税及び事業税	8,096	13,425
法人税等調整額	2,229	15,645
法人税等合計	10,326	29,071
四半期純利益	518	55,907
親会社株主に帰属する四半期純利益	518	55,907

四半期連結包括利益計算書  
第1四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2022年5月1日 至 2022年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年5月1日 至 2023年7月31日)
四半期純利益	518	55,907
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,742	11,725
繰延ヘッジ損益	-	1,214
為替換算調整勘定	29,128	734
その他の包括利益合計	33,871	13,675
四半期包括利益	34,389	69,582
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	34,389	69,582



## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

取締役等に対する株式報酬制度「株式給付信託(BBT)」

当社は、当社取締役及び監査役(社外取締役及び社外監査役を含みます。以下「取締役等①」といいます。)の報酬と株式価値との連動性をより明確にし、取締役(社外取締役を除きます。)が中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めること並びに、社外取締役及び監査役が、社外取締役にあっては監督、監査役にあっては監査を通じた中長期的な企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的とした取締役等①に対する株式報酬制度「株式給付信託(BBT(=Board Benefit Trust))」(以下、「本制度①」といいます。)を導入しております。また、本制度①と併せて、取締役(社外取締役を除きます。)及び執行役員(以下「取締役等②」といいます。)の報酬と中期経営計画との連動性をより明確にし、取締役等②が中長期的な業績の向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的とした取締役等②に対する株式報酬制度「株式給付信託(BBT)」(以下、「本制度②」といいます。)を導入しております。

当該信託契約に係る会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 2015年3月26日)に準じております。

(1) 本制度の概要

本制度①は、当社が拠出する金銭を原資として当社株式が信託(以下、本制度に基づき設定される信託を「本信託」といいます。)を通じて取得され、取締役等①に対して、当社取締役会が定める役員株式給付規程①(ただし、役員株式給付規程①のうち、監査役に関する部分については、その制定及び改廃につき、監査役の協議に基づく同意を得るものとしたします。)に従って、当社株式及び当社株式を時価で換算した金額相当の金銭(以下、「当社株式等」といいます。)が本信託を通じて給付される株式報酬制度です。なお、取締役等①が当社株式等の給付を受ける時期は、原則として取締役等①の退任時となります。

本制度②は、当社が拠出する金銭を原資として当社株式が本信託を通じて取得され、取締役等②に対して、当社取締役会が定める役員株式給付規程②に従って、当社株式が本信託を通じて給付される株式報酬制度です。なお、取締役等②が当社株式の給付を受ける時期は、原則として在任中一定の時期となります。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付随費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。本制度①についての当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度94,635千円、162,700株、当第1四半期連結会計期間94,635千円、162,700株であります。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 2022年5月1日 至 2022年7月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	防護服・ 環境資機材	ヘルスケア 製品	ライフ マテリアル	計				
売上高								
顧客との契約か ら生じる収益	967,417	593	819,116	1,787,127	101,170	1,888,297	—	1,888,297
外部顧客への 売上高	967,417	593	819,116	1,787,127	101,170	1,888,297	—	1,888,297
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	1,820	—	2,220	4,041	5,045	9,086	△9,086	—
計	969,238	593	821,336	1,791,168	106,215	1,897,384	△9,086	1,888,297
セグメント利益 又は損失(△)	102,349	△37,120	39,739	104,968	△5,865	99,103	△95,282	3,821

(注) 1 「その他」の区分は中国子会社であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引に関わる調整額△500千円、及び、報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用△94,782千円であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2023年5月1日 至 2023年7月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	防護服・ 環境資機材	ヘルスケア 製品	ライフ マテリアル	計				
売上高								
顧客との契約か ら生じる収益	1,075,289	82,508	842,812	2,000,611	118,505	2,119,116	—	2,119,116
外部顧客への 売上高	1,075,289	82,508	842,812	2,000,611	118,505	2,119,116	—	2,119,116
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	551	198	2,148	2,898	7,875	10,774	△10,774	—
計	1,075,841	82,707	844,961	2,003,510	126,380	2,129,891	△10,774	2,119,116
セグメント利益 又は損失(△)	112,130	△4,912	50,048	157,266	211	157,478	△78,512	78,965

(注) 1 「その他」の区分は中国子会社であります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引に関わる調整額△168千円、及び、報告セグメントに配分していない一般管理費等の全社費用△78,344千円であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。